福井の文化をきり拓く

# ふっか〜と

Vol.29

2008 秋冬

「ふっか〜と」は福井市文化会館を拠点に活動するNPO法人福井芸術・文化フォーラム発行の文化誌です

写真：福井市幼児演劇鑑賞教室より　福井芸術・文化フォーラムは福井市の委託を受けて、幼児・小・中学生対象の芸術鑑賞教室を開催しています

**福井市文化芸術振興ビジョンが策定されました**

Pick up!! 注目の公演情報 その1
地点公演『ワーニャ伯父さん』

Pick up!! 注目の公演情報 その2
うたおうみんなで! 青春の大歌声喫茶

**新企画進行中**、そして見えてきた安全管理という問題

Q&A 指定管理者制度ってなに？

連載 リ・レ・ー・ト・ー・ク
**喝采が近い**

報告 「歴史探索サロン」を開催

# 福井市文化芸術振興ビ

2008年2月、福井市教育委員会文化課が「福井市文化芸術振興ビジョン」を策定しました。人生を豊かにし、人々の創造性や感性を育むとともに、社会や経済に活力をもたらす源泉といわれる文化芸術。このビジョンでは、これからの福井市の文化芸術振興のあるべき姿やその方向性が明らかにされました。福井芸術・文化フォーラムが取り組んできた先駆的活動もビジョンの内容に盛り込まれています。当フォーラムのこれまでの活動が評価されるとともに、今後の「文化芸術のまちづくり」に果たす役割が期待されています。

## 福井市文化芸術振興ビジョン(一部抜粋)

### 第2章 福井の文化芸術
～過去から現在、そして未来へ～

#### 1 文化芸術活動

(前略)

平成11年7月、福井市文化会館を拠点に、舞台芸術に関するさまざまな事業を企画・運営する市民団体　福井芸術・文化フォーラムが誕生した。平成13年にはNPO法人を取得、多様な市民参画のもと、行政との連携・協働により、本市の文化芸術活動を牽引している。

(後略)

### 第3章 福井の文化芸術
～振興のためのビジョン～

#### 1 テーマ

◎「まず参加　広く発信　未来へ継承」をモットーに文化芸術活動を通した人づくり

◎誰もが　いつでも　どこでも　文化芸術を楽しむことができるまちづくり

#### 2 文化芸術振興のための施策と重点目標

**(1)文化芸術環境の充実**

- 産・学・官そして住民が連携・協働し、人々が広く文化芸術に触れ、鑑賞し、参加し、創造することができる機会や場を創出する。
- 個人や企業・団体等と連携した文化芸術活動支援体制を構築する。

◎重点目標―文化芸術と観光・産業との連携を促進する。

**(2)子どもたちの文化芸術活動の推進**

- 子どもたちが身近に伝統文化や舞台芸術など、優れた文化芸術に触れる機会をさらに充実する。
- 子どもたちの文化芸術活動が活発となるよう、学校や生涯学習機関等を含む地域が連携した取組を促進する。

◎重点目標―児童・生徒への文化芸術鑑賞・体験活動を推進する。

**(3)文化遺産の保存・継承・活用の支援**

- 郷土の偉人や文化人、歴史文化を顕彰・認識していく取組を支援する。
- 文化財や伝統芸能など貴重な文化遺産を適切に保存し、地域の宝として継承・活用していく活動を支援する。

◎重点目標―文化財を理解し、親しむ機会や場の充実を図る。

**(4)文化芸術活動の担い手育成の支援**

- 大学等の高等教育機関やNPOなどと協力し、伝統文化や無形の文化財等の継承者、文化施設や文化芸術団体のアートマネジメント担当者等、文化芸術活動を支える人材育成の支援を行う。
- 高い芸術性と豊かな表現力を備え、国際的に活躍する人材育成を支援する。

◎重点目標―文化芸術活動をコーディネートする人材育成の支援に向け、教育関係機関やNPO等と連携する。

**(5)文化芸術活動の交流と発信の促進**

- 地域固有の文化や新しい文化、多様な文化芸術活動を支援し、世代間や地域間の交流及び国際交流等を促進する。
- 文化芸術に関するさまざまな情報を一元化して発信し、あらゆる人があらゆる形で享受できる環境を整備する。

◎重点目標―文化芸術に関する情報の発信を強化する。

# ジョンが策定されました

## 市民の手による公共。これまでも、これからも。

副理事長　**岸田美枝子**（福井市文化芸術振興ビジョン策定委員）

福井市が2008年2月に「福井市文化芸術振興ビジョン」を発表した。文化が人々の日常生活に潤いと豊かさをもたらすだけでなく、これからの地域社会においてまちづくりや文化創造の主役となる「人づくり」を新たなテーマとして策定された未来志向のビジョンだ。さらに、「市民と行政が連携・協働し責任をともにする市民参画のまちづくり」という基本理念に貫かれた「第五次福井市総合計画」の基本目標のひとつに「人と文化が共生・調和するまちづくり」が掲げられており、まちづくりへの積極的な市民協働が市民の手による公共や文化振興のあるべき姿と重なる。

その重点施策をみると、

(1)文化芸術環境の充実
(2)子どもたちの文化芸術活動の推進
(3)文化遺産の保存・継承・活用の支援
(4)文化芸術活動の担い手育成の支援
(5)文化芸術活動の交流と発信の促進

となっている。この５つの柱にNPO法人福井芸術・文化フォーラム（以下フォーラム）の具体的な事業が見事に連動する。

福井市が文化芸術振興ビジョン策定にあたって実施した市民アンケート調査では、鑑賞活動に参加するときに支障になる要因は「時間的余裕がない・お金がかかる・情報がない」がベスト3だ。つくづく文化芸術とは、いまだにカネとヒマの産物なのだと思い知らされる。たしかに文化芸術活動は、個人的な営みであり私的な活動ではあるが、そのような私的な活動から自発的に生まれる社会的共同とコミュニケーション行為が公共性の原点であろう。実質的な市民主体の運営と市民参画によって、市民の手による公共性が形成されることをフォーラムの10年が実証している。フォーラムは、「文化芸術によるまちづくり、人づくり」をミッションに市民による芸術文化組織の運営と事業展開を通して芸術文化活動の社会的意義とその有用性を明らかにしてきたと言えるからだ。それは、実践してはじめて意味を持つ応用技術のようなものかもしれない。

公共ホールは、行政が設立し管理しているから公共ホールというのではない。その建物としての場・装置、舞台空間、人材が新たな公共性を形成してはじめて公共ホールというのだと思う。フォーラムは、優れた芸術表現を供給し、鑑賞の場を創り、子どもから大人まで、市民そしてアーティストとの交流の場を創り、歴史や文化芸術の学びと研鑽の場をこれからも市民の手で創り続ける。フォーラムは2009年で設立から丸10年を迎えるが、新たな10年に向かうためにも「福井市文化芸術振興ビジョン」が大きな方向性を示している。

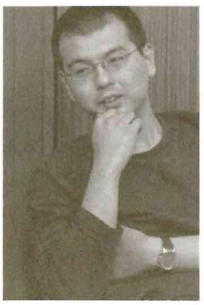
福井市文化芸術振興ビジョンについて詳しくは福井市教育委員会文化課（0776-20-5367）までお問い合わせください。

Pick up!! 注目の公演情報 その1

# 地点公演『ワーニャ伯父さん』

2008年11月、京都を拠点に活動する劇団「地点」が初の福井公演を行います。「地点語」と呼ばれるセリフの喋り方など独特の演出スタイルは国内のみならず海外でも高く評価されています（カイロ国際実験演劇祭ベスト・セノグラフィー賞受賞）。劇団代表の演出家・三浦基さんにお話を伺いました。

## 三浦 基（みうら もとい） interview インタビュー



**――地点という劇団についてご紹介ください。**

そうですね、なかなか一言で自己紹介というのも難しいのですが、今から4年前、2005年に東京から京都に拠点を移しました。特に縁もゆかりもなかった京都という街に、いきなり東京から逆流してしまったということでは、ユニークな劇団だと自分で言ってしまってもいいのではないでしょうか。その点は、京都でもいろんな人に不思議がられたり、おもしろがられたりします。まあ、劇作家がいなくて演出家だけだったり、作風も普通のお芝居とは違ったり、ちょっと風変わりな劇団だと思われているのかもしれません。作品に関して言えば、台詞の文節を切ったりする独特のしゃべり方が「地点語」と言われていたりします。

### いろいろな街に「はじめまして」をしよう

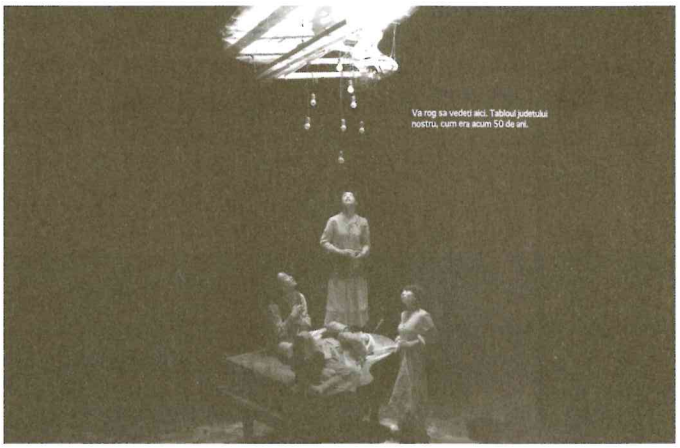
**――はじめての福井公演ですね。今回は北陸・九州をツアーでまわるそうですが、意気込みはいかがですか？**

京都移転後は、とにかく腰をすえて作品作りをしようということで、ときどき東京や海外に行くくらいで、いわゆるツアーというのは未経験なんです。2007年からく地点によるチェーホフ四大戯曲連続上演>というシリーズに取り組んでいるのですが、これはロシアの劇作家チェーホフの四大戯曲といわれる名作群を、地点の作品としてすべて舞台化し、レパートリーにしようという計画です。このシリーズがひとまず完成して、ようやく劇団としても太鼓判の、良い作品が仕上がったので、いろいろな街に「はじめまして」をしよう、というのが今回のツアーのねらいです。とにかくはじめてのことなので、非常に期待が大きいですし、各地でのお客さんの出会いを楽しみにしています。

**――なぜチェーホフなのですか？**

チェーホフという作家は、『三人姉妹』や『桜の園』で知られる超有名な作家です。チェーホフの作品世界は、日本人の心をつかむのか、日本でも昔から何度も何度も上演されてきました。チェーホフの戯曲によって、はじめて近代リアリズム演劇が確立したと言われていますが、日本の演劇も、チェーホフ作品によってリアリズムを学んだのです。地点の作品はいわゆるリアリズムではないので、じゃあなんで、ということですが、一つには僕自身、チェーホフの台詞の強さに圧倒されるということがあります。で、その強さというのは、実はリアリズムをはみ出しているようなところがあるんです。非常に複雑な構成の妙であったり、チェーホフ作品の持つ普遍性といったものを、リアリズムではない手法で表現できるのではないかと思うのです。実際やってみて、最初のそういった見込みが、ハズレではないという手ごたえもつかんでいますので、チェーホフが好きな方にはぜひ観に来てもらいたいですね。

地点『三人姉妹』




地点『ワーニャ伯父さん』

**――『ワーニャ伯父さん』はどんな作品ですか？とっつきにくいお芝居のようなイメージもありますが。**

『ワーニャ伯父さん』という作品は、四大戯曲のなかでももっとも地味な作品なんです。そもそも、主人公がワーニャという47歳の男で、人生の盛りを過ぎてしまったことについて愚痴ばっかり言っているんです。もう一つは、非常に狭い世界、ワーニャが住んでいる屋敷、屋敷のある集落、そういった狭さと、<世界>という広大なものとのコントラストが鮮やかです。つまり、狭さ（それは個人の悩みに埋没しているワーニャという男自身もそうですが）、その狭さを天上から俯瞰するような、ある種個人を超越しているもの、その両方を描いている戯曲です。地点の作品では、原作のそのような世界観を表現しました。舞台にはピアノが一台置かれ、ワーニャと姪のソーニャは終始、ピアノの上に佇んでいます。このピアノの島で物語がすべて進行するのです。

### 個人と世界、狭さと広さ、その狭間にいる人間がどのようにして「在る」のか

**――見どころを教えてください。**

今、ワーニャという男について紹介しましたが、実は地点の『ワーニャ伯父さん』ではワーニャよりもワーニャの姪のソーニャにスポットをあてています。タイトルの『ワーニャ伯父さん』ですが、ソーニャしか「ワーニャ伯父さん」とは呼ばないんですよね。そういう意味では、原作でももちろんソーニャは鍵を握る存在なのですが、地点版ではその部分を拡大解釈しています。さっき、個人と世界、狭さと広さ、という話をしましたが、その狭間にいる人間がどのようにして「在る」のか、そのあたりが見どころといえば見どころかな？　あと、舞台装置がシンプルなだけに、細かい仕掛けが随所にあるので、非常に見ていて飽きないつくりになっていると思います。楽しんでいただけると思いますよ！

**――ありがとうございます。福井公演、期待しています！**

**三浦 基●みうら もとい**　演出家。劇団「地点」代表。1973年生まれ。1999年より2年間、文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリに滞在。2007年度文化庁芸術祭賞新人賞受賞。2008年度京都市芸術文化特別奨励者。

Pick up!! 注目の公演情報 その2

# うたおうみんなで！青春の大歌声喫茶

## 歌いかわそう心の歌を！一緒に歌うと元気が出ます。

昨年開催して大好評だった歌声コンサートをさらに充実させて、今年も福井市文化会館を会場に「大歌声喫茶」を開催します。会場のお客様からのリクエストで、ロシア民謡から童謡・抒情歌・フォークソングまで歌集を手に歌いましょう。

### 歌声喫茶ってなに？

ピアノ・アコーディオンやバンド演奏に合わせて、歌唱リーダーの進行のもと、歌集を手に店の客が一緒に歌う「歌声喫茶」。1960年代に一世を風靡、その後カラオケ人気に押され一時衰退したものの、みんなで歌う一体感や人と人とのふれあいの良さが見直され、今また人気が再燃し、静かなブームとなっています。

### 大歌声喫茶って？

福井市文化会館の大ホールを大きな「歌声喫茶」に見立てて大歌声喫茶を開催します。歌唱リーダーと演奏は、なんと歌声喫茶の老舗・東京新宿「ともしび」のメンバーが来場！お客様を歌の渦に巻き込みます。大きな会場でみんなが一緒になって歌う楽しさに、心も体も元気になります。あなたもぜひ参加してみませんか！？

### どんな曲を歌うの？

当日は会場にて手づくりのオリジナル歌集をお配りします。会場からのリクエストもお受けしながら、ロシア民謡から童謡・抒情歌・フォークソングまで歌集を手に歌いましょう。昨年は、『あの素晴らしい愛をもう一度』『青い山脈』『学生時代』など全24曲を歌い上げました。曲に合わせて体を揺らしたり、手拍子をしたり、思い思いに楽しむのも素敵ですね。

**昨年の感想より**

◎若い頃「ともしび」で歌ったことがあり、懐かしい思いで参りました。皆さんの明るく弾むような雰囲気に引き込まれるように声が出、歌いました。(60代男性)

◎40年前ともしびでよく歌っていました。とても懐かしく、涙が出てしまいました。またこのような機会を持ってください。(60代女性)

◎青春時代を思い出しこのさびしい時代にゆったりと優しい気持ちになれ楽しかったです。昭和30年代の福井駅前の喫茶店を思い出しました。(60代女性)

◎みんなで歌えて楽しかった。家族で一緒に歌えてよかった。(50代女性)

---

**地点公演『ワーニャ伯父さん』**

**2008年11月14日(金)** 19:30開演

**会場：福井市文化会館**

原作：アントン・チェーホフ　翻訳：神西清　演出：三浦基

出演：安部聡子、石田大、大庭裕介、小林洋平、谷弘恵

**[終演後ポストパフォーマンストークあり]**

出演：三浦基(地点代表)、中埜コウシ(福井芸術・文化フォーラム事務局長)

チケット料金(全席自由・整理番号付)

◆一般：前売2,500円／当日3,000円　◆学生：前売2,000円／当日2,500円

◆フォーラムメイト　2,200円

※フォーラムメイト割引は前売・フォーラム事務所のみ取扱

※未就学児の入場はご遠慮ください

前売開始：9月12日(金)

チケット取扱

福井芸術・文化フォーラム事務所(福井市文化会館内)、地点、電子チケットぴあ

主催：地点／NPO法人福井芸術・文化フォーラム

**うたおうみんなで！青春の大歌声喫茶**

**2008年12月14日(日)** 14:00開演

**会場：福井市文化会館**

歌唱リード・伴奏：東京新宿「ともしび」

チケット料金(全席自由)

◆一般：前売1,700円／当日2,000円　◆学生：前売1,000円／当日1,300円

◆高校生以下無料　◆フォーラムメイト：1,500円

※フォーラムメイト割引は前売・フォーラム事務所のみ取扱

前売開始：10月9日(木)

チケット取扱：福井芸術・文化フォーラム事務所(福井市文化会館内)、福井市文化会館事務所、ベル、パリオCITY、勝木書店本店、響のホール、松木屋日之出店、アル・プラザアミ、アル・プラザ鯖江

**プレイベント**　まちなかのあの場所この場所で歌声喫茶を開催します！

vol.1　9月23日(火・祝)　①13:00～　②15:00～
AOSSA1階アトリウム　入場無料

vol.2　11月22日(土)　15:00～
カフェあんのん(福井市北四ツ居)　1,000円(飲物付)

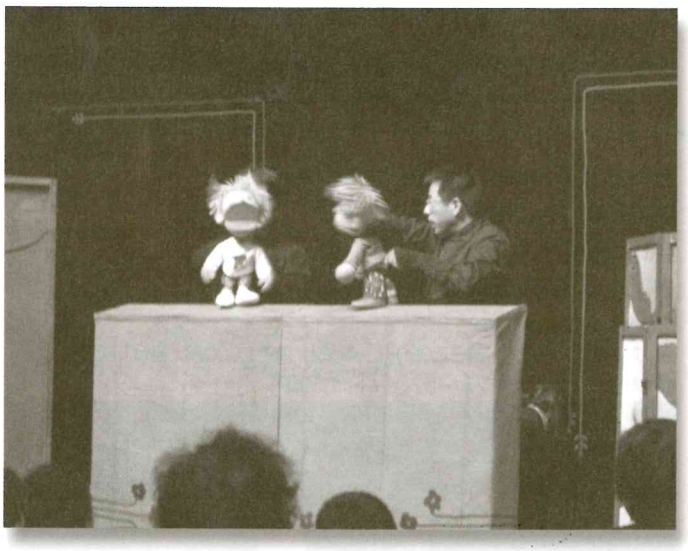
主催：NPO法人福井芸術・文化フォーラム

お問い合わせ：NPO法人福井芸術・文化フォーラム　0776-23-6905(月～金10:00～18:00／土日祝休)

# 新企画進行中、そして見えてきた安全管理という問題

大ホールのステージ内に人形劇の舞台と客席を設営。写真左が緞帳、写真奥にも幕や反響板などの舞台機構が見える。

2008年8月12日午前11時と午後2時、福井市文化会館大ホールのステージ内では子どもたちの歓声が沸きあがりました。今年度より推し進めてきた新企画「ロビー＆ステージ企画」の第一弾として「夏休み子どもシアター」を開催。緞帳で仕切られたステージ内に人形劇の舞台と客席を作り、午前午後の2ステージで約130人のお客様が、「人形劇団とんと」の上演による「三匹のやぎのがらがらどん」と「いきてるかい」を楽しみました。

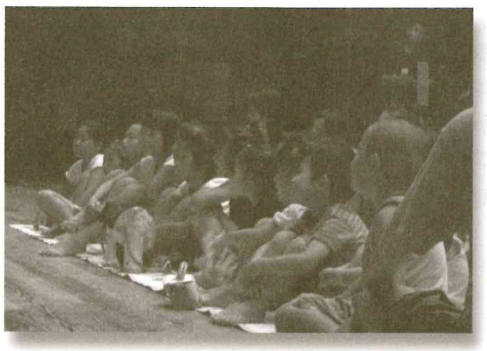


このステージ上にお客さんを誘導し、ゴザ敷きの客席に座ると天井には吊りもの用のバトンや文字幕、照明が並んで見えます。会場に入ってきた子どもたちはこの風変わりな空間に座り「いったい何がはじまるのだろう」と嬉々としています。そして人形劇が始まるとしんと静まり、1時間の舞台を楽しみました。夏休みのひととき、子どもたちにとってはとても楽しい企画になったと思います。今後このような形の公演事業企画を別なアプローチでも提案できるのではないかと思います。

当初この企画は会館の新たな活用方法の提案として、文化会館のロビーで行う予定でした。しかし文化会館管理サイドとの協議を進める中で、安全管理上避難誘導の十分な通路を確保できないためロビーでの公演事業を行うことが出来ないことがわかり、急遽会場をステージに変更して実施しました。ロビーで出来なかったことは残念なのですが、事業を企画していく部会や常任理事会の中で、この「安全管理」ということが今までのフォーラムの議論の中で欠落していたことがわかったのです。今までは事業運営に精一杯であったために安全管理まで考えられなかったというのが正直なところです。今回の企画ではステージ上にお客様を乗せるということで十分な係員を配置したり、特に子どもたちが舞台脇の綱元などの危険箇所には立ち入らないよう気を遣いました。

今回の企画に限らず、たとえば公演事業中に火災や地震などが起こった際のお客さんの避難誘導をどうするかということや公演事業中に事件や事故があった際の対応をどうするかという議論は今まであまりされてきませんでした。当フォーラムを立ち上げて以来、運良く公演中の大きな事件・事故や災害には遭っていませんが、事件・事故や災害はいつやってくるかわかりません。さまざまな事件・事故や災害を想定したシュミレーションや訓練を行う必要があります。

（常務理事・広報部長：前田耕一）



# Q&A
## 指定管理者制度ってなに？

### 指定管理者制度とは

平成15年の法改正により、「公の施設」の管理運営が、市直営や外郭団体に代わって、市が指定するNPO法人や民間企業等が、単なる業務委託でなく施設全体の維持管理や利用料金の設定など、これまで市が行っていた業務を行うことが出来るようになりました。この市が指定する団体を「指定管理者」といいます。

### 指定管理者制度の対象となる「公の施設」とは

ここでいう「公の施設」とは市が市民の福祉を増進するために設置し、市民が直接利用することを目的として作られた施設のことです。身近な施設として、文化会館、体育館、駐車場、国民宿舎などがあります。

### 指定管理者制度導入の目的は

民間の経営やNPOの住民参画のノウハウ等の活用を進めることにより、市民に質の高いサービスを提供するとともに経費削減を図ることにあります。

## フロントスタッフ募集

公演当日のボランティアスタッフを募集しています。チケットのもぎりや会場案内などお客様を気持ちよくお迎えするお仕事です。
あなたも一緒に活躍してみませんか？

- 活動日は本誌8ページを参考にしてください。（開演2時間前～終演後30分程度）
- 事前に仕事内容の講習（受講無料）があります。
- 年齢、性別などは問いません。
- 軽食をご用意しています。また、当該公演を無料で観ることができます。

募集は随時行っています。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。お待ちしています。

## リ・レ・ー・ト・ー・ク

前回の書き手　福井ブラスアカデミー指揮者　山下秀雄さんからのご紹介です。

わたしたち、もっとも信頼しあった音楽活動仲間です。

### 喝采が近い

合唱指揮者 **松村 勇**

まだ三十代そこそこの若造でした。ほんの少し専門的に音楽を勉強しただけなのに、自分よりはるかに経験豊かな人たちを前に合唱指導をしたのです。さぞ生意気そうであったと思います。

それは、ベートーヴェン作曲交響曲第九番四楽章の「歓喜の歌」でした。在学中、NHK交響楽団の「第九」に出てはいたのですが、指導など滅相もないことです。でも、多くの方が証言を残しておられるように、この演奏会は常に大成功でした。つまり、若輩者の私はとんでもない幸運に出会ったのです。しかもそれが二十年以上も続いたのです。

「第九」が始まったのは昭和五十年でした。以来、福井市文化会館での演奏は二十二回を数えました。

本番では、私は大抵合唱団員のメンバーに加わり、あの洪水のようなオーケストラと合唱の音の渦の中で歌いました。あまり多くはないのですが、練習の成果を見届けようと、客席で聞いたことも何度かあります。

「第九」の聴衆は随分好意的だと感じていました。CDで名演奏を極めたはずの人までが「やはり生演奏だ！」「やはり第九だ！」と熱狂します。理由はいろいろありそうですが、多分、「第九独特の感動」を期待通りに提供してくれた、というところではないでしょうか。

少々無理な例えかもしれませんが、焼きそばなら何でもOKという焼きそば好きが、ちゃんと調理した焼きそばをたまに食すると大いに感激する、それに似た風な感じがします。

ところが、客席の私は、聴衆が熱狂する中一人違うことを考えていたように思います。私は当事者の一人であり少し専門家でしたから、聴衆と合わせて拍手しながら、少々複雑な気分に陥っていたのです。感動の分析などしていたからです。『限界を超えそうな程のハイテンションの感情移入が、少々のトラブルを解消してしまった』とか、『合唱が主体的に表現をしたから、オケとのブレンドが良かった』とか、『それにしても打ち合わせどおりには歌ってくれなかった』などと、聴衆の熱狂にほくそ笑みながら、心の中でつぶやいていたのです。

それにしても、このホールの満場の拍手は良いですね。ステージに向かって拍手の音が降ってきますから。何となくですが、このステージにいると喝采が近い感じがします。このホール独特のように思います。

最近読んだ茂木健一郎の『音楽からすべては生まれる』という本の中に、数量化できない感動こそ、人が生きる上でいかに大切であるかが力説されていました。彼は人の生き方に質（クオリア）を問うのです。演奏や感動の質こそ重要だというのは納得です。しかし、脳科学者に逆らうつもりはないのですが、拍手は演奏の質を的確に表現できると思いませんか。しかも、拍手によって感動が更に深まることだってありますよね。

文化会館で「第九」を演奏していたころ、誰かが言いました。『「第九」はステージで歌うに限る』と。それは『福井市文化会館での「第九」は、ステージで喝采を浴びるに限る』と同じ意味なのです。

**松村 勇●まつむら いさむ**

昭和18年武生市（現・越前市）生まれ。福井市コールアカデミー、男声合唱団フロッグス、福井大学グリーンエコーの常任指揮者。福井市文芸協会と福井県合唱連盟の共催で始まった（昭和50年～平成8年第22回まで）第九交響曲演奏会の第1回目からの合唱指導者。福井県合唱連盟特別顧問。

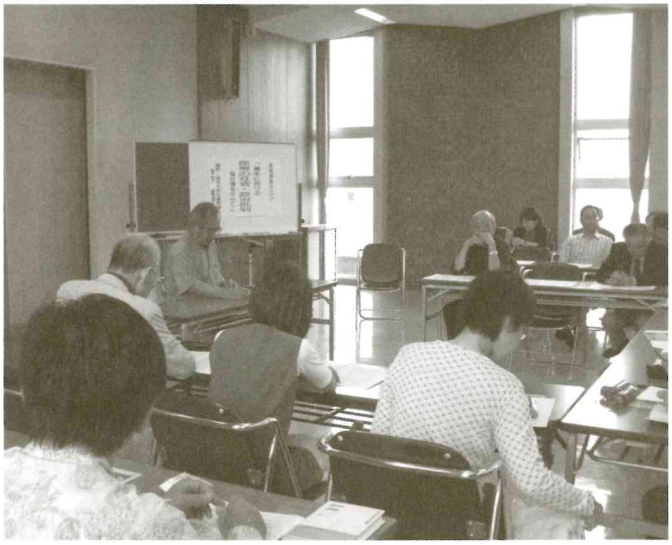
●福井市文化会館にまつわるエピソードをテーマに、書き手の紹介でつながります。誰のどんな話が登場するか、次号もお楽しみに。

報告

# 「歴史探索サロン」を開催

本年度第1回のサロンが5月24日(土)の午後に福井市文化会館で開催され、当フォーラム会員、一般の方約30名が出席しました。講師は福井大学名誉教授の隼田嘉彦氏で、演題は「幕末における民衆の社会・政治批判—福井藩を中心に—」でした。

当時の民衆がその方法として多く用いた「落書(らくしょ)」とは、匿名で政治や社会を批判したり風刺した書付のことで、人目に立つ所に張ったり、わざと道端に落としたりしたもので、投書の形を取ることもありましたが、とりわけ社会不安が増した幕末に盛んに行われたそうです。



7つの項目立てには、「松平慶永に関するもの」や「幕末の福井藩に関するもの」といった地元ネタもあり楽しく身近に聞けました。全体を通し、落書を行ったその頃の民衆の心は、年金、後期高齢者、石油、イラク、改憲問題などに批判的な現代日本人の心と通じるものがあるとの解説に、一同頷くことしきりでした。

(理事・広報部会:山下博)

## 編集後記

◆事業をやっていく中で、危機管理能力が必要なことがわかりました。新たな課題ですね。(K・M)

◆放送大学の大学院と学部での芸術・文化関係科目の魅力は本誌でも触れてきたが、科目群履修認証制度(学校教育法)に基づく「芸術系博物館プラン」も発足している。先日も、現役生で本会法人会員(取材等々のご縁)有力メンバーのS氏とその挑戦を含め談論。(H・Y)

◎今回の「ふっか〜と」はいかがでしたか?ご意見・ご感想・ご要望など、メールまたはFAXでフォーラムまでお気軽にお寄せください。

## Program

福井芸術・文化フォーラム
2008年10月〜2009年3月
おもな事業のご案内

**柳家三三 能楽堂落語会**
**10月16日(木)** 13:30
会場:福井能楽堂
(福井市民福祉会館内)

**地点公演**
**『ワーニャ伯父さん』**
**11月14日(金)** 19:30
詳細は4ページをご覧ください

**うたおうみんなで!**
**青春の大歌声喫茶**
**12月14日(日)** 14:00
詳細は5ページをご覧ください

**コンドルズ**
**福井スペシャル公演2009**
**2009年3月7日(土)** 17:00
構成・映像・演出:近藤良平

**第7回芸文いこさ寄席**
**2009年3月14日(土)** 15:00
出演:桂雀々
春風亭昇太
柳家三三
桂吉弥
林家二楽(紙切り)

◎会場はいずれも福井市文化会館です(能楽堂落語会を除く)。
◎情報は2008年8月末日現在のものです。内容、公演タイトル等は変更になる場合があります。必ずチラシなどでお確かめください。
◎詳細はお問い合わせいただくか、福井芸術・文化フォーラムのウェブサイトをご覧ください。

## 入会のご案内

**福井芸術・文化フォーラムは、文化のちからでふくいのまちづくりをすすめるアートNPO。福井市文化会館を拠点として、舞台芸術に関するさまざまな事業を企画・運営しています。**

**一緒に活動しませんか?あなたに合ったかかわり方があります。**

**[正会員(アートスタッフ)]** あなたの思いや夢をカタチに
3通りのかかわり方
①会の運営を担う——部会や委員会に所属
②ひとつの事業の企画から実施まで——事業プロジェクトスタッフ
③気軽にちいさなお手伝い

**[準会員]** 資金面での支援協力、文化を育む応援団
・個人賛助会員 ・法人賛助会員 ・団体会員

**[フォーラムメイト(鑑賞友の会)]** もっと舞台を身近に、楽しく
・フォーラム主催公演のチケットを先行予約、優待割引
・公演・催しの案内、文化誌「ふっか〜と」を送付

**■会費=年会費**

| | | |
|---|---|---|
| 正会員(アートスタッフ) | 1口 | 5,000円 |
| 準会員 個人賛助会員 | 1口 | 5,000円 |
| 法人賛助会員 | 1口 | 10,000円 |
| 団体会員 | 1口 | 3,000円 |
| フォーラムメイト(鑑賞友の会) | | 1,500円 |

**すべてのお問い合わせは**
**福井芸術・文化フォーラム 電話 0776-23-6905**
開所時間:月〜金10:00〜18:00 /土日祝休
(2008年12月27日〜2009年1月4日は年末年始につき閉所いたします)

**福井芸術・文化フォーラムの活動を応援しています**(2008年度法人賛助会員)

セーレン株式会社
北陸労働金庫
島崎電器商会
財団法人福井県予防医学協会

**次号2009春夏号は**
**2009年4月1日発行予定です**

発行 NPO法人 福井芸術・文化フォーラム
910-0019 福井市春山2-7-1 福井市文化会館内
tel.0776-23-6905 fax.0776-23-7905
e-mail: geibun@geibun.info http://geibun.info/